

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-151142

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月8日

(51) Int.Cl.⁹

A 4 7 D 13/02

識別記号

F I

A 4 7 D 13/02

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-362464

(22) 出願日 平成9年(1997)11月21日

(71) 出願人 598003025

加藤 清美

神奈川県秦野市栢塚82番地の6

(72) 発明者 加藤 清美

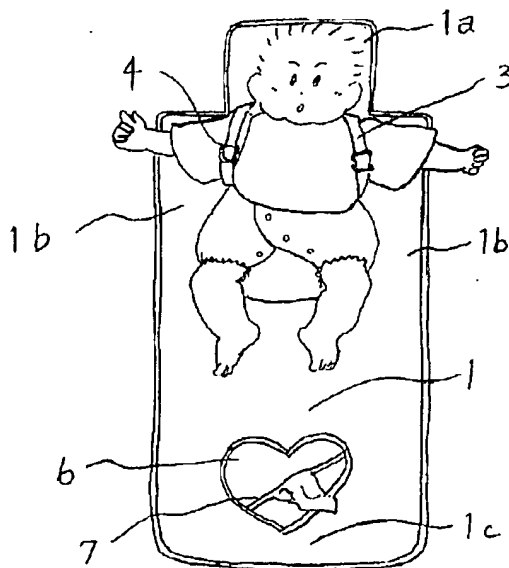
神奈川県秦野市栢塚82番地の6

(54) 【発明の名称】 おむつ替え用リュック

(57) 【要約】

【課題】外出先の備え付けベッドに乳児を寝かせる時に使用するもので、ベッドに触れる面が乳児に直接触れることのないようにし、乳児自ら背負うことによって、母親の負担を軽減したおむつ替え用リュックを提供する。

【解決手段】シート(1)の表面に、伸縮器具(4)並びに取り外し自在の連結器具(5)を有した肩紐(3)を設け、シート(1)の裏面には、シート頭部分(1a)に留め具雄片(2a)を設け、シート(1)の表面の中部位置に留め具雄片(2b)を設け、シート(1)のシート側面部分(1b)を中央方向に折り曲げ、シート(1)のシート底部分(1c)を上方向に巻き上げ自在とし、留め具(2a)(2b)により固定できることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シート(1)の表面に、乳児背負い用の肩紐(3)を設け、肩紐(3)の中途には、伸縮器具(4)並びに取り外し自在の連結器具(5)を設け、シート(1)の裏面には、シート頭部分(1a)に留め具雄片(2a)を設け、シート(1)の表面の中部位置に留め具雌片(2b)を設け、シート(1)のシート側面部分(1b)を中央方向に折り曲げ、シート(1)のシート底部分(1c)を上方向に巻き上げ自在とし、留め具(2a)(2b)により固定できることを特徴とするおむつ替え用リュック。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、外出先の備え付けベッドに乳児を寝かせる時に使用するもので、ベッドに触れる面が乳児に直接触れることのないようにした、乳児自ら背負うことの出来るおむつ替え用リュックに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のおむつ替えシートは、主に外出先で乳幼児を備え付けのベビーベッドに寝かせるときに使用するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは次のような欠点があった。

イ、0ヶ月から歩き出す前の一歳位の子(＝いわゆる乳児)を連れて母親が外出する際は、ミルク・哺乳瓶・替えおむつやタオル等ただでさえ荷物が多いので、鞆の中が嵩張って不便だった。

ロ、シートの出し入れから使用するまで手間がかかるので、煩わしさがある。

本発明は、以上の欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】シート(1)の表面に乳児背負い用の肩紐(3)を設ける。肩紐(3)の中途には、伸縮器具(4)並びに取り外し自在の連結器具(5)を設ける。シート(1)の裏面は、シート頭部分(1a)に留め具雄片(2a)を設け、シート(1)の表面の中部位置に留め具雌片(2b)を設ける。シート(1)のシート側面部分(1b)を中央方向に折り曲げ、シート(1)のシート底部分(1c)を上方向に巻き上げ自在とし、留め具(2a)(2b)により固定できる。本発明は、以上の構成よりなるおむつ替え用リュックである。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。

(イ)シート(1)の表面に乳児背負い用の肩紐(3)を設け、肩紐(3)の中途には、伸縮器具(4)並びに

取り外し自在の連結器具(5)を設ける。

(ロ)ベビーベッドに触れる面、つまりシート(1)の裏面が乳児に直接触れることのないよう内側になる折り畳み式で、留め具(2a)(2b)により折り畳み部分を固定することにより、乳児がリュックを背負った状態になる(図4)。

(ハ)素材は、シート(1)の表面は綿100%、シート(1)の裏面には抗菌加工の施されたものを使用する。

本発明は、以上の構成よりなっている。本発明を使用するときは、通常は折り畳みである本発明品(図3)を乳児に背負わせている(図4)。乳児を抱き手で留め具(2a)(2b)をはがすと乳児の体に合わせてシート(1)が広がる(図5)から、そのまま乳児をシートごと寝かせる(図2)。使用後は、ベッド上で乳児を座らせ、シート(1)の側面部分(1b)を中央方向に折り曲げ(図6)、シート(1)のシート底部分(1c)を上方向に巻き上げる。または、肩紐(3)の連結器具(5)により着脱可能なので、乳児を抱いた後折り畳みでから再度背負わせることも容易に出来る。また、シート(1)の表面の底部分(1c)にポケット(6)を設け、ポケット(6)に挿入口(7)を設けることにより、そこにおむつ替えに必要なポケットティッシュ・ウェットティッシュ等を入れておくと、より迅速な作業が出来る。

【0006】

【発明の効果】本発明を使用することによって、一連の作業が無理なくスムーズに行え、かつ乳児本人に背負わせるため母親の荷物の負担が軽減される。また、ベビーベッドに触れる面、シート(1)の裏面は乳児に直接触れることがないので、おむつ替え等の際に乳児を不衛生な場所に寝かせることがなくなる。本体は抗菌加工を施しているので衛生的である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の全体正面図

【図2】本発明の使用状態を示す正面図

【図3】本発明の背面図

【図4】本発明の使用前を示す正面図

【図5】本発明の使用状態を示す斜視図

【図6】本発明の使用後畳み方を示す正面図

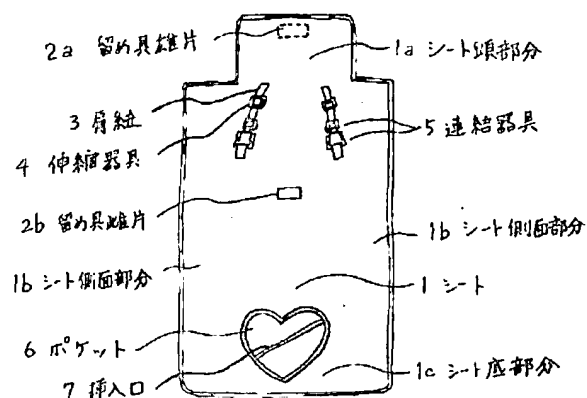
【符号の説明】

- 1 シート
- 1a シート頭部分
- 1b シート側面部分
- 1c シート底部分
- 2a 留め具雄片
- 2b 留め具雌片
- 3 肩紐
- 4 伸縮器具
- 5 連結器具

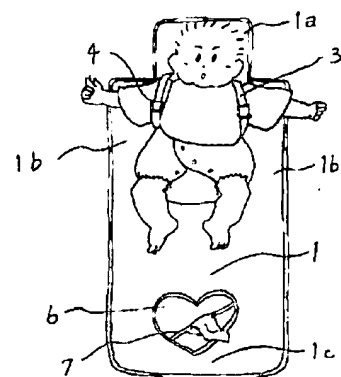
6 ポケット

7 挿入口

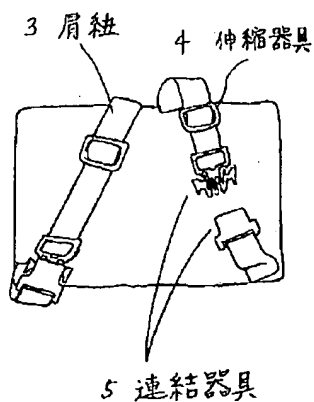
【図1】



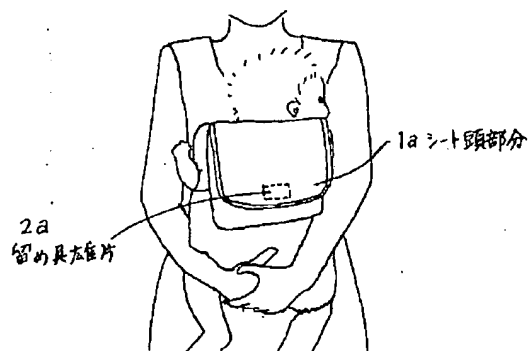
【図2】



【図3】



【図4】



【図6】

【図5】

